

令和2年度 夏号

図書館だより 幼児向けブックリスト

相生市立図書館



あついあつい夏がきた



『あついあつい』 垂石真子・作//福音館書店//P-タ

ペンギンが涼しいところを探しています。やっと見つけたと思ったら…。くりかえしの展開が楽しく、満足できる結末になっています。夏の絵本なので、今の季節を逃さず読んであげてください。

『ちょっといれて』 さとうわきこ・作・絵//偕成社//P-サ

暑い夏の日、おばあちゃんが木陰で本を読んでいると、うさぎが「ちょっといれて」とやってきました。その後も次々に動物たちがやってきて…。最後におばあちゃんの取った行動がとってもゆかいなおはなしです。

『かげはどこ』 木坂涼・文 辻恵子・絵//福音館書店//P-キ

夏、いつもよりくっきりしているかげは男の子といつも一緒です。伸びたり、縮んだり、ゆらゆらしたり、かくかくしたり…。大人が意識もしないようなことに子どもは興味津々で、一緒に観察していると不思議なことがいっぱいです。



川や海で思いっきり遊ぼう



『はまべにはいしがいっぱい』 レオ・レオニ・作 谷川俊太郎・訳//好学社//P-レ

文章はほんの少しで、鉛筆で精巧に描かれたたくさんの石が次々に登場します。「こんな石があるわけない。」そう反応したお子さんを連れて、浜辺に行ってみませんか。絵本にも出てこなかったおもしろい石が見つかるかもしれません。

『ぐりとぐらのかいすいよく』 中川李枝子・作 山脇百合子・絵//福音館書店//P-ナ

のねずみのぐりとぐらが浜辺で遊んでいると、瓶が砂浜に流れ着きました。その中には、うみぼうずからの手紙と地図と浮き袋が入っていて…。

『たろうめいじんのたからもの』 こいでやすこ・作//福音館書店//P-コ

暑い夏の日、きつねのきつこがいたちのちいとに会いに行くと、二人はきれいな緑色の石がついた首飾りをつけていました。自分もほしくなったきつこは、泳ぎの名人だというたろうめいじんに会いに行きます。

「きつねのきつこ」シリーズは、ほかに春・秋・冬のおはなしがあります。

『すなのたね』 シビル・ドラクロワ・作 石津ちひろ・訳//講談社//P-ド

もうすぐ楽しかった夏休みも終わり。海から帰ってきたばかりの「あたし」が落ち込んでいると、サンダルから砂のつぶがこぼれ落ちました。砂のつぶを種のようにまいたらどうなるか、弟のユリスとともに想像をふくらませます。



むしだいすき



『せみとりめいじん』 かみやしん・作 奥本大三郎・監修//福音館書店//P-カ

てっちゃんはまだ一度もセミをとったことがありません。セミとり名人のごんちゃんに教えてもらい、まずはあみを自分で作るようになりました。実際にセミを捕まえるコツが詳しく書かれていて、この本を読めば、あみを作ってセミとりに出かけたくなること間違いなしです。

「せみとりはあそびじゃないよ、しんけんしょうぶ！」

『なつやすみ虫ずかん』 宮武頼夫・文 稲田務・絵//福音館書店//P-ミ

見開き2ページで1種類、全部で13種類の夏に出会える昆虫が紹介されています。見返しには本に出てきた昆虫の実際の大きさも載っています。絵がとても美しいので、昆虫が好きな子どもだけでなく、たくさんの子どもの見てもらいたい一冊です。



なつにおいしい！たべものの絵本



『トマトのひみつ』 山口進・文・写真//福音館書店//P-ヤ

トマト畑に一匹のクモがやってきました。クモは畑に巣をつくり、獲物となる虫がかかるのを今か今かと待ち続けます。この本は、トマトがおいしい実をつけるためにどんな秘密を持っているのかを紹介した写真絵本です。おいしい実をたくさんつけるために、トマトが持っている秘密とは何でしょう。

『なつやさいのなつやすみ』 林木林・作 柿田ゆかり・絵//ひかりのくに//P-ハ

夏の畑の夏休み、夏野菜たちはみんなプールにやってきました。楽しく遊んでいる

とトマトくんがやってきて、勢い余ってプールに飛び込んでしまいました。なす、オクラ、とうもろこし、ゴーヤなどたくさんの夏野菜が出てきて、言葉遊びが楽しい絵本です。

『ハンダのびっくりプレゼント』

アイリーン・ブラウン・作 福本友美子・訳//光村教育図書//Pーブ
ハンダは友だちのアケヨにあげようと、バナナやグアバなど7種のくだものをかごに乗せて出かけました。何が一番好きだろうと考えながら歩いて行くと…。文章は少なく、絵がおはなしを語ってくれます。鮮やかな色彩の絵が夏にぴったりで、細部まで楽しめる一冊です。



みみをすませしてみよう



『しーっ！ぼうやがおひるねしているの』

ミンフォン・ホ・作 ホリー・ミード・絵 安井清子・訳//偕成社//Pーホ
お母さんが赤ちゃんを寝かしつけると、何かが鳴いている声が聞こえてきました。赤ちゃんを起こさないよう注意していると、また近くから何かが動いている音がしてきて…。この絵本はタイの農村が舞台になっていて、たくさんの生き物が登場します。日本での鳴き声と同じであったり、違っていたり、次々に登場する生き物の鳴き声にも注目してください。

『きこえるきこえるなつのおと』 マーガレット・ワイズ・ブラウン・作

レナード・ワイズガード・絵 よしがみきょうた・訳//小峰書店//Pーブ
子犬のマフィンに乗せた車は田舎の牧場に向かいます。道中でも牧場でもマフィンの耳には色々な音が聞こえてきます。一体何の音でしょう。問いと答えが別のページになっているので、読んであげると子どもとのやりとりが楽しめる絵本です。



ほかにもあるよ！ おすすめの本



『エンソくんきしゃにのる』 スズキコージ・作//福音館書店//Pース

エンソくんは一人で汽車に乗り、おじいちゃんの家へ出かけました。途中でたくさんのひつじをつれた人が汽車に乗ってきて…。奇想天外な展開と作者の絵の雰囲気ぴったりで、何とも言えない面白さを醸し出しています。

『ひまわり』 荒井真紀・文・絵//金の星社//P-ア

ひまわりを育ててみたことはありますか。この本では、種まきから枯れるまでの過程がわかりやすい文章で詳細に描かれています。ひまわりの種は4月から6月ごろにかけてまくのがいいそうです。この本を読んで、来年の春にぜひ種まきしてみてください。

『くんちゃんのもりのキャンプ』

ドロシー・マリノ・作 まさきりこ・訳//ペンギン社//P-マ

こぐまのくんちゃんはいとこのアレックに誘われて二人きりでキャンプに出かけます。その道中、くんちゃんは巣作りをするこまどり、泳いでいるあひる、魚をとるかわせみに会いました。くんちゃんはみんなに習ったように寝床を作ったり、泳いだり、魚をとったりしようとはしますが…。好奇心旺盛で失敗しながら成長していくくんちゃんの姿は、子どもそのものです。くんちゃんが主人公の本はほかにもあります。

『めっきらもっきらどおんどん』 長谷川摂子・作 ふりやなな・画//福音館書店//P-ハ

かんたは遊び相手が見つからず、むしゃくしゃして大きな声でめちやくちやな歌を歌いました。すると突然風が吹き、奇妙な声が聞こえてきました。声のする木の穴をのぞき込むと、奇妙な3人組に出会い…。かんたが経験した夏の日の不思議な出来事を一緒に楽しんでください。

『はちうえはぼくにまかせて』 ジーン・ジオン・作

マーガレット・ブロイ・グレアム・絵 もりひさし・訳//ペンギン社//P-ジ

夏休み、トミーは旅行に出かける人たちの鉢植えを預かり、お世話をすることにしました。一週間、二週間と経つと、鉢植えの植物はどんどん大きくなり、家じゅう森やジャングルのように…。夏休みの終わり、みんなを幸せな気持ちにした男の子のおはなしです。

『ごちそうさまのなつ』 マーク・サイモント・作 なかがわちひろ・訳//富山房//P-サ

夏のはじめのある日、ウサギの一家は森のはずれに畑を見つけました。まわりに張られた金網もおかまいなしに、穴を掘ってほうれん草をむしゃむしゃ。ウサギからなんとか畑を守ろうとする人間と、運を味方においしい野菜をいただくウサギの対照的な姿がゆかいな絵本です。



貸出カードはお持ちですか？

相生市にお住いの方なら、どなたでも貸出カードを作ることができます。

利用登録の際、貸出カードを作る本人の身分証明書が必要です。

お子様の場合は保険証などをご持参ください。

ご不明の点がございましたら、相生市立図書館までお問い合わせください。

相生市立図書館 0791-23-5151